

研究名：当院における腹膜透析カテーテル留置術の後方視的検討

1．研究の目的

小児慢性腎不全症例に対する血液浄化療法として、腹膜透析（PD）は有効な選択肢の一つです。PD カテーテル関連合併症は治療の中止や中断につながるため、その予防や対策が重要ですが、特に体格の小さい新生児・乳児例においては高頻度に合併症が発生しているのが現状です。我々は PD カテーテル留置術に着目し、外科的観点から PD カテーテル関連合併症を低減させるための因子を検討することを目的としました。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2003 年 4 月～2023 年 12 月までに慢性腎不全に対して腹膜透析を行った方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025 年 3 月

研究方法：対象患者さんの診療録を用いて、患者背景（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患など）、術式、術後成績（手術時間、術後合併症、入院日数、再手術の有無など）について、統計学的解析（Mann-Whitney U 検定、Fisher の直接確率検定）を行い検討します。

3．研究に用いる情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患など）、手術情報（術式、手術時間など）、術後成績（術後合併症、入院日数、再手術の有無など）

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、7月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部外科 小関元太

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部外科 小関元太